

幾何公差講習会 (2日間講座)

日本設計工学会の幅広い経験と知識、設計業務や教育経験など豊富な実務経験に基づいた独自の教材を使用し、講義と丁寧な個人的な添削指導を行いながら、少人数制でわかりやすく学ぶことができます。

主催 公益社団法人 日本設計工学会東海支部
協賛 計測自動制御学会中部支部、自動車技術会中部支部、精密工学会東海支部、日本機械学会東海支部、日本技術士会中部本部、日本材料学会東海支部、日本図学会中部支部、日本塑性加工学会東海支部

図面表現力・読図力が確実に身に付く講習会

ご参加していただきたい方

- 幾何公差についてJIS・ISOに基づいた国際的な図面表現力、読図力を習得したい方
- 調達・購買・検査・品質・管理部門などの業務で図面表現を学びたい方
- 製図に関連したエンジニアや社会人
- 製作図面を仕事で用いる方
- 社員の製図での幾何公差教育とお考えの方
- 幾何公差を用いた製図CADの従事者

日時・場所・講師陣・参加費・申込方法

日時：8月22日（木）、29日（木）の2日間コース

開催時間：9時30分～17時00分

開催場所：名城大学天白キャンパス

研究実験棟Ⅱ K-261(多目的室)

(地下鉄鶴舞線「塩釜口/名城大学前」下車
1番出口徒歩約4分)

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tenpaku/>

定員：30名

講師陣：

今泉 敏幸（中央発條(株) 元常務取締役）

大西 正敏（愛知工科大学 教授）

藤松 孝裕（鈴鹿工業高等専門学校 教授）

伊藤 智啓（名古屋工業大学 准教授）

白木原 香織（鈴鹿工業高等専門学校 准教授）

他

参加費：

・会 員 ￥10,000円

（賛助会員企業からは複数名まで参加可能）

・非会員 ￥12,000円

（参加費は当日受付にてお支払いください。）

※参加費には講座のテキスト代を含みます。

【申込方法】

E-mailにて、「幾何公差講習会の申し込み」と標記し、

①氏名、②勤務先、③所属部署、④参加券送付先E-mail
アドレス、⑤会員番号（会員でない場合は会員外と明記）

をご記入のうえ、下記へお申し込み下さい。

講座の概要

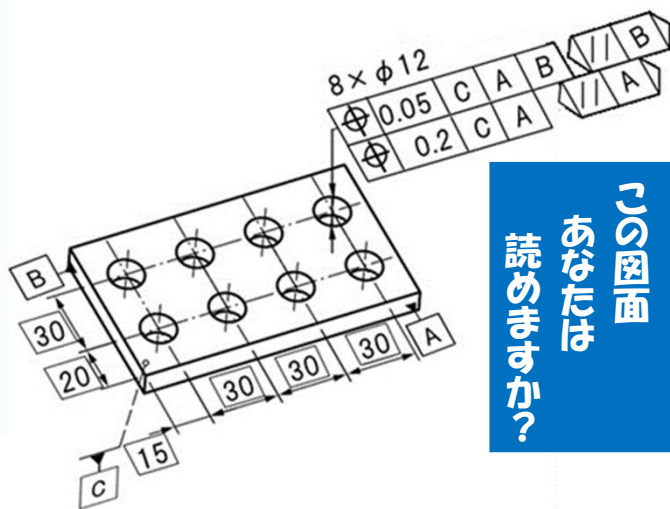
幾何公差に関する最新の JIS規格ならびに ISO規格に基づいた正しい理解力と表現力が身に付くように、少人数制で短期間・集中的に指導します。ただし、製図の基礎知識を学んでいない方には、難しい内容になります。

機械や部品の品質・コストは、その形状や大きさのバラつきをどの程度許容するのかによって左右されます。また、誰が作っても、どこで作っても、同じ品質の部品が入手できるようにするには、曖昧さのない図面指示が必要です。そのためには、寸法公差だけでなく、幾何公差を図面に指示することが必要不可欠です。本講習会では、幾何公差に関するルールを理解し、「図面の意図を正しく読み取る」あるいは「自分の意図を正しく図面に記述する」ことができるように、講義と演習を行います。

【主な内容】

- 寸法公差と幾何公差の違い、公差表示方式の基本原則
- 幾何公差の図示方法と幾何公差域の解釈（3Dモデルでの図示法についても解説）
- データムの基本的事項
- 寸法と幾何公差の相互依存性 包絡の条件、最大実体公差方式*及び交互公差方式*など（*機能を損なわずに、幾何公差を緩和しコスト低減することを目的とした方式）
- 最大実体公差方式と機能ゲージ

※講義内容に変更が生じる場合もあります。
持参用具については、後日ご連絡いたします。



【申込み・問合せ先】

(公社) 日本設計工学会 東海支部 幾何公差講習会 担当幹事 高見 征二

TEL 052-705-3931

E-mail: takami@mediacat.ne.jp